

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪キリスト教短期大学
設置者名	学校法人大阪キリスト教学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	幼児教育学科	夜・通信	44			44	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上、学校基本情報のシラバス項目にて公開している。 http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020kamokuichiran.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪キリスト教短期大学
設置者名	学校法人大阪キリスト教学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公開している。
<http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪YMCA 堺市青少年 センター館長	2019.3.25～ 2023.3.24	学外窓口・規程整備 の推進責任者
非常勤	一般財団法人国際飢餓対 策機構 理事長	2019.3.25～ 2023.3.24	寄附金対策・危機 管理体制整備
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪キリスト教短期大学
設置者名	学校法人大阪キリスト教学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)には、授業の方法、授業の概要、授業のテーマ及び到達目標、授業回数分の授業計画、試験あるいはレポート提出等の成績評価の方法、評価基準、授業時間外の学習に関する指示等を記載している。</p> <p>また、当該科目が実務家教員担当である場合は、授業担当者の実務家としての現場経験を活かして、将来保育の職に就く受講者に今日的な課題を実践的に取り上げ教授する旨が記載している。</p> <p>シラバス作成は、1月に教務課から担当教員に文書で依頼し、2月から3月にかけて、教務課が記載内容のチェックを行った後、学長が指名した第三者の教員が注意事項に沿って作成されているかチェックを行っている。</p> <p>シラバスはホームページで公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.occ.ac.jp/course/child-education/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスに各科目の成績評価の方法(試験、レポート等)と、評価基準を明記している。学則に、学修成果の評価については、秀、優、良、可、不可と規定しており、可以上で単位修得を認定している。</p> <p>成績評価は、レポート、テスト、課題発表等により行い、シラバスにあらかじめ示した到達目標とその達成度に対する評価を明記している。</p> <p>また客観的指標(ルーブリックの導入等)により、教員は客観的な方法・基準に基づいて評価することとしている。</p> <p>卒業研究に関しては、各教員による研究目標を示すシラバスを用意し、評価基準をシラバスによって示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAの学生への提示は成績表(学生ポータルサイトにて閲覧)に記載している。算出方法は、「要覧」に記載し、全学生に配布している。</p> <p>学生には2種類のGPAを提示しており、学期毎の修得単位で算出した学期GPAと、全ての修学期間の修得単位で算出した累積GPAを示している。</p> <p>また、GPAに関しての分布グラフを毎年度、作成しており、ホームページでも公開している。前年度のGPA分布グラフを参照して、学生は自身の成績がどの位置にあるか客観的に知ることができる。</p> <p>GPAの算出方法は、各科目の成績評価をGPに換算し、このGPに科目ごとの単位数を掛けた値の合計を、履修登録した単位数の合計で割った値をGPAとする。</p> $\text{GPA} = \frac{(\text{GP} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>「要覧」に記載、ホームページ上「学校基本情報、2教育研究の概要、GPA制度に関する規程」で公開している。</p> <p>http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/GPA.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業要件を記載した「要覧」を学生に配布している。教育目的を文章で列挙するとともに、具体的な必要単位数を明記している。教養基礎科目と専門教育科目のそれぞれの必要単位数を示し、その合計が卒業要件となる単位数であることを示している。</p> <p>また、同じく「要覧」に記載している学科の履修指針表では、科目ごとの単位数や卒業必修単位などを示している。</p> <p>これらは本学ホームページの「学校基本情報」にて公開している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>「要覧」に記載</p> <p>公開URL: 教育方針 http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_policy.pdf 卒業要件 (2019年度生) http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2019_mokuteki.pdf (2020年度生) http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_mokuteki.pdf 履修指針表 (2019年度生) http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2019_curriculum.pdf (2020年度生) http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_curriculum.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪キリスト教短期大学
設置者名	学校法人大阪キリスト教学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/
収支計算書又は損益計算書	http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/
財産目録	http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/
事業報告書	http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/
監事による監査報告(書)	http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2015jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/02/assessment-1.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育学科
教育研究上の目的（公表方法：「学生募集要項」） http://www.occ.ac.jp/admission/recruitment-2/admission-policy_y-2/
（概要） ＜幼児教育学科の教育目的＞ 1. 建学の精神であるキリスト教と高い倫理観、職業に対する使命感に基づき、愛をもって子どもや人々に奉仕できる人材を育成する。 2. 社会人としての教養と対人関係能力に基づき、地域の人々と協働し、他の学生と協力して物事を成し遂げることができる人材を育成する。 3. 保育学・教育学・福祉学の基礎知識と学問的探究方法の理解に基づき、乳幼児に関する知識と保育方法理論を理解して、変化する保育ニーズの中で自己の保育を改善することができる人材を育成する。 4. 一人ひとりの子どもの心に寄り添い、保育を構想してクラス集団を指導し評価することができる保育実践力を備えた人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公開している） http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_policy.pdf
（概要） 本学の建学の精神・本学科の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、以下の資質を養い、所定の単位を修得した場合は、卒業を認定し短期大学士の学位を授与します。 1. 自己を確立し、社会に貢献する意欲をもつ。 2. 職業的倫理観を基礎として、乳幼児や人に対して愛をもって関わるができる。 3. 乳幼児の成長を支援するために必要な幼児教育、保育、福祉の専門的知識と技能をもち実践できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公開している） http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_policy.pdf
（概要） 【教養基礎科目】 建学の精神を学ぶ「聖書と現代人」を全学共通の開講科目とし、広く人間と社会に関する教養を学びます。豊かな人間性を培うため交流共感の場を学外に求めて、ゼミナール活動等では地域社会への貢献として様々な活動への参加も積極的に推奨しています。 【専門教育科目】 学科の教育目的を達成するように社会貢献できる人材育成と保育者養成を目指して教育課程を編成しています。幼稚園教諭二種免許状・保育士資格・社会福祉主事任用資格を取得できます。自立する姿勢を身につけ、自分で考え、判断し、行動する保育者を目指し、2年間で段階的に成長できるよう理論科目、実践科目を構成しています。さまざまな教育活動を通して、学生が主体的に学びのテーマを選び取り進化させるため、地域社会に関わる中で学び貢献します。また教職・保育士養成に係る補完的教育や対策講座なども開講しています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：「学生募集要項」） http://www.occ.ac.jp/wp-content/uploads/2017/03/2020_policy.pdf

(概要)

<求める学生像>

- ・本学の教育目的を理解し、自分の夢や目標を明確に持ち、それに向かって努力する意志がある人
- ・愛をもって子どもに関わる意思を持ち続ける人
- ・子どもや周りの人に明るく積極的に関わり、コミュニケーション能力を身につけようと意欲にあふれる人
- ・高等学校で履修した基礎学力を身につけた人
- ・心身の健康管理に努め、実践から意欲的に学ぼうとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.occ.ac.jp/guidance/academy/#chart>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
	—	6人	3人	4人	1人	0人	14人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		31人					31人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.occ.ac.jp/guidance/teachers/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年、FD活動として以下の取り組みを行っている。							
①専任教員、非常勤講師合同で「教育懇談会」を開催し、学科の教育内容等について説明し、学科の方針等の周知を行っている。							
②毎年、専任教員間の「相互授業参観」の期間を設けて相互啓発に努めている。							
③原則として教職員全員が参加するFD・SD研修を毎年2月に開催している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育学科	170人	140人	82.4%	370人	263人	71.1%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	170人	140人	82.4%	370人	263人	71.1%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	92人 (100%)	1人 (1.1%)	90人 (97.8%)	1人 (1.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	92人 (100%)	1人 (1.1%)	90人 (97.8%)	1人 (1.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
幼稚園、保育園、こども園等				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
幼児教育学科	92人 (100%)	89人 (96.7%)	1人 (1.1%)	2人 (2.2%)	0人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	92人 (100%)	89人 (96.7%)	1人 (1.1%)	2人 (2.2%)	0人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業計画（シラバス）には、授業の方法、授業の概要、授業のテーマ及び到達目標、授業回数分の授業計画、試験あるいはレポート提出等の成績評価の方法、評価基準、授業時間外の学習に関する指示等が記載している。</p> <p>また、当該科目が実務家教員担当である場合は、授業担当者の実務家としての現場経験を活かして、将来保育の職に就く受講者に今日的な課題を実践的に取り上げ教授する旨を記載している。</p> <p>シラバス作成は、1月に教務課から担当教員に文書で依頼し、2月から3月にかけて、教務課が記載内容のチェックを行った後、学長が指名した第三者の教員が注意事項に沿って作成されているかチェックを行っている。</p> <p>シラバスはホームページで公表している。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>シラバスに各科目の成績評価の方法（試験、レポート等）と、評価基準を明記している。学則に、学修成果の評価については、秀、優、良、可、不可と規定しており、可以上で単位修得が認定している。成績評価は、レポート、テスト、課題発表等により行われ、シラバスにあらかじめ示した到達目標とその達成度に対する評価が明記している。</p> <p>また客観的指標（ルーブリックの導入等）により、教員は客観的な方法・基準に基づいて評価することとしている。</p> <p>卒業研究に関しては、各教員による研究目標を示すシラバスが用意され、評価基準がシラバスによって示している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育学科	62単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法： http://www.occ.ac.jp/guidance/date/#daigakusi		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公開している
http://www.occ.ac.jp/campus_life/campus-map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	幼児教育学科	800,000 円	250,000 円	359,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 大阪キリスト教短期大学給付制奨学金 本学独自のものとして、(A) 本学の課程を2年間で卒業する見込みがあり、経済的困窮が認められる者に対して、申請された学期の授業料の半額を給付する。1年後期分より申請可、各学期に審査、各学期につき在籍数の10%以内。(B) 本学において卓越した成績をおさめ、他学生の模範となる優秀な学生に対して、申請された学期の授業料・教育施設充実費・実習費の半額を給付する。2年前期分より申請可、各学期に審査、各学期につき1名。 また、入学後、諸事情により学費を納付期間内に納付できない場合、「学費延納・分納制度」も設けています。 他団体の奨学金として、独立行政法人日本学生支援機構、あしなが育英会、財団法人交通遺児育英会、地方公共団体及び民間育成団体奨学生制度（都道府県等による独自の奨学金制度で、内容はそれぞれ異なります）などがあります。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 1年前期にキャリア基礎の授業を開講し、1年後期より就職ガイダンスを時間割の中に位置づけて1年間実施。全学生と個別面談を実施しています。 採用試験対策（エントリーシート・履歴書の書き方、面接対策、マナー講座、筆記試験対策講座）等、多様な進路（教育・保育系、企業、進学、編入学等）の選択に応じて支援しています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学生生活支援室と保健室で学生の健康に関わる支援を行っています。身体のこと、自分のこと、家族や友だちのこと、漠然とした不安、その他、どのようなことでも受けつけて一緒に考えていきます。プライバシーは守られます。また、どのようなサポートがあればよいかを探り、必要であれば、相談者の了解のもと、教職員が連携してサポートしていきます。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで学校基本情報を公開している。
<http://www.occ.ac.jp/guidance/university-information/>